グリーン・アントレプレナーシップ研究寄附講座

京都大学

設置期間　2023 年 7 月 1 日～ 2026 年 6 月 31 日
寄付者　千本 倖生（株式会社レノバ 名誉会長 兼 アシュラント株式会社 会長）
森 暁彦

教員

教　　授　澤邉 紀生
教　　授　山田 仁一郎
特命教授　千本 倖生
准 教 授　YANG, I-Chieh Michelle
特定講師　Alexandra Elena Carst
客員教授　軽部 大
客員教授　木村 麻子

講座概要

本寄附講座は、持続可能な人間社会の前提となる豊かな自然環境の維持改善を志向するグリーンな経営活動と、市場メカニズムを活用することで社会問題を解決し、新しい社会価値の実現を目指すアントレプレナーシップとが結びつく領域において、研究教育を展開することを目指している。グリーンとアントレプレナーシップの交わる領域において活躍できる有為な人財を輩出すべく、マネジメント・ファイナンス・アカウンティングなど多面的かつ学際的に教育研究を行うものである。本講座は、グリーン・アントレプレナーシップの領域における教育研究を推進することで、経営管理大学院の在校生にとどまらず、この重要な領域における実務家・研究者の知識・能力の向上に資することを目指す。

研究

内外のベストプラクティスを収集分析し理論化を進め、それらの調査研究成果をシンポジウムなどを通じて広く発信することで、日本社会の啓蒙をはかる。

講義

グリーン・アントレプレナーシップ領域において活躍している実務家の講演を含めた実践力の高い講義を開講し、経営管理大学院学生の知識水準の向上と実務能力の改善に貢献する。

講座ホームページ

https://www.project.gsm.kyoto-u.ac.jp/ge/

グリーン・アントレプレナーシップ研究寄附講座

京都大学

設置期間　2023年7月1日～2026年6月31日
寄 附 者　千本 倖生（株式会社レノバ 名誉会長 兼 アシュラント株式会社 会長）
　　森 暁彦

教員紹介

澤邉 紀生 教授

専門分野
会計学、管理会計、マネジメントコントロール

Message
企業活動の全体像を捉えるためには会計の知識が不可欠であり、戦略を実行しリスクをコントロールするためには適切な管理会計システムを構築する必要があります。伝統的な大企業組織における管理会計の仕組みを体系的に理解したうえで、今日の企業経営の課題に対応して登場してきた新しい考え方について理解を深めていきましょう。

千本 倖生 特命教授

専門分野
連続起業家、日本の通信事業界の革新者とも知られており、新しい事業やベンチャー企業の立ち上げを得意とする。

Message
私が思う価値ある人生とは、クリエイティブな目標を設定して、果敢にリスクを取って挑戦するものです。そういった人生の方が、安定性や安全だけを選ぶ人生の 100 倍の価値があるのではないでしょうか。私はゼロからはじめ、ずっと小さな船で暴風雨の中を進み、それを巨艦にしてきました。いろいろな災害、艱難辛苦に遭いました。そういうプロセスを通ってきているからこそできるアドバイスがありますので、これからの日本を支える夢を持つ未来の若者への力になりたいと思っております。

木村 麻子 客員教授

専門分野
管理会計、サステナビリティ経営

Message
環境負荷を減らすことが企業内の一部門や社会の一部の製造業のトピックであった頃に比べると、ESG 投資が隆盛を迎える現在における社会の価値観は随分変わったように感じます。気候変動を抑制し、子どもたちや将来の世代が安心して暮らせる社会となるようにと思って研究しています。

山田 仁一郎 教授

専門分野
アントレプレナーシップ、経営戦略、組織論

Message
社会と組織の変化を理解するために、アントレプレナーシップの視点は見晴らしが良いです。組織の誕生から流転まで、経営戦略と倫理・哲学、企業統治の観点からとらえ直すと、ビジネスリーダーとしての選択肢が大きく広がります。定石を知り、良い意味で裏切りましょう。

軽部 大 客員教授

専門分野
戦略論、組織論、研究開発管理、企業家行動

Message
事前の「バカな」「ありえない」と、事後の「なるほど」の両者をつなぐ、多様な個人、集団、そして企業による革新の実現過程（挑戦、失敗、学習）や、逸脱行動の制度化（資源動員と正当性の確立過程）に注目して研究を進めています。企業による環境対応行動を、消極的な法令対応・遵守行動としてのみならず、主体的なビジネスモデルの変革過程として捉え研究を進めたいと考えています。

※ 各教員の詳細な経歴は、QR コードからウェブサイトをご確認ください。